

活 用 事 例	大分市立大在中学校	望月陽一郎教諭
活用事例タイトル	使う（つかう）①・・・タブレットのグループ活用	
対象授業科目/活動	各教科（理科）	
授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など）	<p>新しく導入された学習者用タブレット（指導者用を含めて学校に10台の導入）を使って、グループでの活用を試みています。1班に1台配布（9班）し、実験の記録をアプリ「ロイロノート」を使って行わせました。班の中でどのように記録すればよいか考えさせ、話し合わせながら実験を「記録」させていきます。</p> <p>実験後に「記録」を見合うことで、自分たちの実験と他の班を「比較しながら振り返る」ことができようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用教材　・・・アプリ「ロイロノート」（iPad）（アクセスガイド設定） 	
評価、振り返り（活動の評価や児童・生徒の声など）	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度学校に10台導入されたばかりで、子どもたちは興味が先行しています。 ・アクセスガイドを設定して他のアプリを使えないことに不満をもらっていましたが、実際に使い始めてみると、「どのように記録すればよいのか」「他の班が記録したのも見られるの？」など、記録に専念していく様子が見られました。 ・普段の実験ではなかなかできない「実験の記録の共有」ができたため、実験への興味関心が高まり、「次はいつ使うの？」というようになりました。 ・ICTの活用例のひとつとして「iPad 通信」に載せ、先生方に配布し啓発を続けています。 	
ICT活用により期待できる効果 ICT活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめiPadにインストール済みアプリしか使えない（許可されていない）ため、「どのアプリをどの場面で使うか」がスタートとなりました。 ・他のアプリにもさわってみたいという子どもたちの興味を、実験への集中に向かわせるために、iOSの機能「アクセスガイド」で「ロイロノート」以外を使わないように設定しました。子どもたちは集中して取り組むことができました。 ・中にはハードに対して「苦手」と感じる子どももいます。「iPad係」を決めることによってスムーズな活動ができるようになりました。1人1台配布の前にグループ活用することは、この面からも有効です。 	
その他 (関連WEBサイト等ありましたらご記入ください。)	<ul style="list-style-type: none"> ・慣れ→活用につなげていくため、まだ今後の取り組みが必要なところです。 ・見る②の活用と並行ができない（10台しかないため）のが困っているところです。 	